

「ニッポン」の誇り

大和は日の出る國 日の本の
心から生ひ立つ

日本の呼称については断然「ニの地」の継承となつてゐたので
「ボン」の發音を決定したことある、支那ではこれに「倭國」
は既報の通りだが、この世界には別に現れる。國の古書をみると
古事記その他の古書をみると、「秋津島」「大八洲」と種々の名
が記されてゐる。『日本書紀』は「豊原」「瑞穗國」の成立
由來について述べて見る。

「秋津島」「大八洲」など種々の名

に貢を納めて、先方の朝廷から

貢を納めて、倭奴國王と印を貰つた事

もないと見られる。文字をもつてした事

によつては知られる。

しかし、わが朝廷が國際文書の

いふべきものは即ち「ヤマト」で

神武天皇が「大和の地」を定めたものも即ち聖德太子の道徳

られて以来、大和朝廷の御威勢

が擴大するにつれ、この

地方の名が勢力のおよぶ限り

で記載される。文書等

に貢を納めて、支那の文獻附書にチヤ

シカシ、わが朝廷が國際文書の

いふべきものは即ち「ヤマト」で

神武天皇が「大和の地」を定めたものも即ち聖德太子の道徳

られて以来、大和朝廷の御威勢

が擴大するにつれ、この

地方の名が勢力のおよぶ限り